

科目名	化学英語 B	英語科目名	English for Chemistry B
開講年度・学期	平成 22 年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 5 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1 単位	単位種類	学修単位 (30 + 15) h
担当教員	亀山 雅之	居室 (もしくは所属)	電気・物質棟 4 階
電話	0285-20-2801	E-mail	kameyama@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 発音記号を見て英語の発音がわかること。 2. 英語のスペルを見て正しい発音ができること。 3. 正しいアクセントで発音できること。 4. 可算名詞と不可算名詞が区別できること。 5. 品詞の区別ができ、日本語訳もそれに応じてできること。 6. 主語と述語が分かり、日本語訳もそれに応じてできること。 7. 自動詞、他動詞の区別が付き、日本語訳もそれに応じてできること。 8. 現在、過去、未来のテンスの違いが理解でき、それに合わせた日本語訳ができること。 9. 関係代名詞が表す内容を具体的にすることができ、それを日本語訳の中で論理的に表現できること。 10. 化学英語 300 語を覚えること。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1 ~ 4 に対しては中間、期末試験の関連問題および課題の 60 % 以上の成績で達成とする。 達成目標 5 ~ 10 に対しては期末試験の関連問題および課題の 60 % 以上の成績で達成とする。			
評価方法			
原則として課題 40 %、試験 60 % (中間と期末の合計) の加重平均で算出する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. ガイダンス、単語テスト	復習：単語テスト問題を再度回答する。		2
2. 単語テスト、Easy Chemistry 13-15	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
3. 小テスト 13-15、Easy Chemistry 16-18	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
4. 小テスト 16-18、Easy Chemistry 19-21	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
5. 小テスト 19-21、Easy Chemistry 22-24	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
6. 小テスト 22-24、Easy Chemistry 25-27	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
7. 小テスト 25-27、Easy Chemistry 28-30	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
8. 中間試験	復習：中間試験問題を再度回答する。		2
9. 答案返却・解説、Easy Chemistry 31-33	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
10. 小テスト 31-33、Industrial Chemistry 34-36	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4
11. 小テスト 34-36、Industrial Chemistry 37-39	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。		4

12. 小テスト 37-39、Industrial Chemistry 40-42	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
13. 小テスト 40-42、Industrial Chemistry 43、Chemical Industry 44,45	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
14. 小テスト 43-45、Chemical Industry 46-48	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
15. 小テスト 46-48、Easy Chemistry 49-51	予習：単語の意味と使い方を調べる。教科書の該当部分を和訳する。 復習：重要な構文の解釈の方法を理解する。	4
・・・・・・期末試験・・・・・・	復習：試験問題を再度回答する。	2
16. 答案返却・解説	復習：解説を基に試験問題を再度回答する。	2
自学自習時間合計		60
キーワード	化学英語、発音記号、品詞、主語、述語、構文、解釈	
教科書	中村喜一郎、青柳忠克 共著「やさしい化学英語」(オーム社)	
参考書	1. 千原ほか 編「化学英語の活用辞典」(化学同人) 2. 桜井 寛 著「化学英語用法辞典」(東京化学同人)	
小山高専の教育方針 ~ との対応		
技術者教育プログラムの学習・教育目標		
(D-1) 言語の知識を修得すると同時に、語学力や会話力を身につけること。		
(E-1) 外国の文化や価値観について知り、国際性を身につけること。		
JABEE 基準 1 の (1) との関係	(a) (b) (d(2)) (f) (g)	
カリキュラム中の位置づけ		
前年度までの関連科目	全ての英語関連科目および化学関連の基礎科目	
現学年の関連科目	卒業研究	
次年度以降の関連科目		
連絡事項		
1. 予習および復習を必ず行うこと。 2. 理解が困難な場合は、そのつど質問すること。		
シラバス作成年月日	平成 22 年 2 月 28 日	